

胃痛・腹痛の中医弁証論治

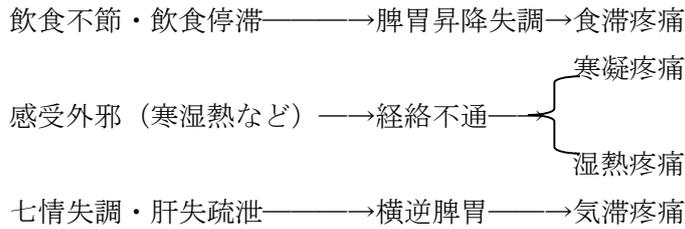
高橋楊子・上海中医薬大学附属日本校

胃痛・腹痛は臨床ではよく見られる症状である。急性か慢性胃腸炎・神経性胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・過敏性腸症候群・潰瘍性大腸炎などの病気とよく関係する。

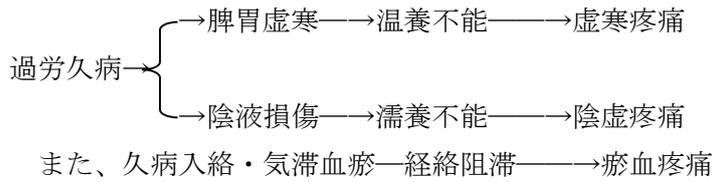
👉脾胃機能のおさらい

一. 病因病機

1. 実証（不通則痛）



2. 虚証（不栄則痛）



二. 治療原則

軽・重・緩・急を見分け、寒・熱、虚・実、气・血を弁別する。

寒・熱・虚・実の分型

証型	疼痛性質	随伴症状	舌・脈
寒痛	冷痛、激しい痛み	喜温喜熱飲、嘔吐希薄もの、下利	苔白（膩）、脈弦緊
熱痛	灼熱痛	食欲旺盛、胸やけ、嘔吐黄水、吞酸嘈嘔、口苦口乾、喜冷飲、便乾便秘、或いは便が黄色く臭い	舌紅苔黄、脈弦数
虚痛	慢性的にシクシクの痛み	空腹時でやすい、喜温喜按、食欲不振、胃の痞え、軟便下利	舌淡、齒痕、胖大、苔薄、脈細弱
実痛	急性激痛（脹痛）	食後出やすい、拒按	舌白か紅、苔白か黄（膩）、脈弦緊
气滯痛	脹痛、遊走痛	拒按、げっぷ、胃脹、食欲はむらがある、ストレスによる増悪	舌辺紅、脈弦
瘀血痛	刺痛、固定痛	拒按、固定、肩凝り、頭痛、吐血、血便	舌紫暗、瘀斑点、舌下静脈異常、脈澀

急性の胃痛・腹痛は実証が多い。寒・熱を見分け、理气和胃止痛を行う。
慢性の胃痛・腹痛は虚証が多い。寒・熱を見分け、健脾和胃助運を行う。
虚実挟雜の複雑な場合に「急則治其標、緩則治其本」に基づき行う。
また、慢性化になると、瘀血によるものもあり、活血化瘀を加える。

三. 弁証論治

(一) 実証

1. 食滯疼痛（暴飲暴食の病歴がある）

症状：急に胃痛・腹痛、胃か腹部に膨満感があり、吐き気、嘔吐酸腐物、吐いたら痛みが軽減する、下痢か排便不爽、便が臭い、食欲がない、厚膩苔、滑脈。

治則：消食導滯

処方：保和丸・平胃散・焦三仙など

保和丸：山楂子・神麴・萊服子・半夏・陳皮・茯苓・連翹。消食和胃

平胃散：蒼朮・厚朴・陳皮・甘草・生姜・大棗。燥湿運脾・行氣和胃

焦三仙：山楂子・神麴・麦芽。消食導滯

2. 寒凝疼痛

症状：急に胃か腹部に激しい痛みを起し、拒按、悪寒喜温。顔色蒼白、口不渴か口渴喜熱飲、嘔吐、下痢、白苔、弦緊脈。

治則：散寒止痛

処方：良附丸・安中散・香蘇散・生姜湯など

良附丸：高良姜・香附子。温中散寒・行氣止痛

安中散：桂枝・高良姜・小茴香・延胡索・縮砂・炙甘草・牡蛎。温中散寒・理氣和胃・止痛止酸

香蘇散：香附子・紫蘇葉・陳皮・甘草（生姜）。理氣散寒

生姜湯 温中散寒・和胃止嘔

3. 湿熱蘊結

症状：腹痛拒按、熱感があり、煩熱口渴、便秘、或いは下痢（便が黄色くて臭い）、尿少尿黄、汗出、紅舌、黄膩苔、濡数脈。

治則と処方：便秘が酷い→泄熱通腑。処方：大承氣湯・調胃承氣湯など

下痢が酷い→清利湿熱。処方：葛根黄連黄芩湯など

大承氣湯：大黃・芒硝・枳実・厚朴。峻下熱結

調胃承氣湯：大黃・芒硝・甘草。緩下実熱

葛根黄芩黄連湯：葛根・黄芩・黄連・甘草。解肌・清熱止痢

4. 肝氣横逆・氣滯疼痛

症状：憂鬱不安、苛立ち、怒りっぽい、胃か腹部の脹痛、咽の痞え、食欲はむらがある、ゲップとガスが多い、便がスッキリ出ない、下痢と便秘は交互に出る、精神的な原因により症状が増悪。薄白苔、弦脈。或いは吞酸、口乾口苦、便秘、ひどくなると吐血や便血もある、紅舌黄苔、弦数脈。

治則と処方：肝気横逆→疏肝理気。柴胡疏肝散・四逆散・逍遙散など

肝胃鬱熱→疏肝泄熱。化肝煎・左金丸・加味逍遙散など

柴胡疏肝散：柴胡・白芍・枳殼・川窮・香附子・陳皮・炙甘草。疏肝行気・活血止痛

四逆散：柴胡・白芍・枳実・炙甘草。疏肝理脾・解鬱透熱

逍遙散：柴胡・薄荷・当帰・芍薬・白朮・茯苓・生姜・甘草。疏肝解鬱・健脾養血

化肝煎：陳皮・青皮・芍薬・牡丹皮・山梔子・沢瀉・貝母。疏肝泄熱、理气和胃

左金丸：黄連・呉茱萸。清瀉肝火・降逆止嘔

加味逍遙散：逍遙散＋牡丹皮・山梔子。清肝泄熱・疏肝健脾・養血

5. 瘀血阻滯

症状：慢性的に胃か腹部に刺痛・固定痛があり、拒按、食後に胃の痛みが増悪する。時に吐血や便血を伴う、紫暗舌、瘀斑点、澀脈。

治則：活血化瘀

処方：失笑散・丹参飲・血府逐瘀湯など

失笑散：蒲黄・五靈脂。活血化瘀・止痛止血

丹参飲：丹参・檀香・縮砂。行気化瘀・和胃止痛

血府逐瘀湯：桃仁・紅花・当帰・地黄・芍薬・川芎・柴胡・枳殼・桔梗・牛膝・甘草。

活血化瘀・行気止痛

(二) 虚証

1. 脾胃虚寒

症状：慢性的に胃か腹部にシクシクの痛みがあり、喜温喜按、空腹時に痛みが出やすい、食欲がない、胃の痞え、吐き気、つばや水をよく吐く、顔色萎黄、倦怠無力、手足が冷える、軟便下痢しやすい、淡白歯痕舌、白苔、沈虚弱脈。

治則：温中健脾・和胃止痛

処方：香砂六君子湯・黄耆建中湯・人参湯など

香砂六君子湯：人参・茯苓・白朮・半夏・陳皮・木香・縮砂・炙甘草。健脾益気・和胃降逆・理気止痛

黄耆建中湯：黄耆・桂枝・芍薬・炙甘草・生姜・大棗・飴糖。温中補気・和裏緩急

人参湯：人参・乾姜・白朮・炙甘草。温中散寒・健脾益気

2. 胃陰虧虚

症状：慢性的に胃か腹部にシクシクする痛みがある、空腹感があるが、食欲が少ない、口乾咽燥、便乾便秘、紅舌少津、少苔無苔、細数脈。

治則：養陰益胃

処方：一貫煎・麦門冬湯＋芍薬甘草湯

一貫煎：生地黄・沙参・麦門冬・当帰・枸杞子・川楝子。滋養肝腎・疏肝理気

麦門冬湯：麦門冬・人参・半夏・甘草・大棗・粳米。滋養肺胃・降逆下気

芍薬甘草湯：芍薬・甘草。緩急止痛

四. 生活面の注意点

1. 暴飲暴食・油っぽいもの・刺激物・大酒・遅い時間での食事を避けて、間食や喫煙を減らし、アイスや冷たいものの飲み過ぎを控え、栄養バランスの良い食事を心がける。
2. 過労・徹夜・夜ふかしを避けて規則正しい生活に心がける。
3. ストレスが溜まらないように上手く発散する。
4. 日頃から適度な運動を行い、免疫力を向上させる

【症例検討】

患者：男性、28歳、既婚、小学校の先生

初診：某年9月

主訴：胃痛、吐き気、食欲がない

望診：痩せ型・顔色萎黄無華

病歴：もともと食が細い。新学期に入ってストレスと多忙によって胃にシクシクする痛みが時々あり、朝から吐き気が続き、食欲がなく朝食がほとんど取れない、昼の給食も食べられず栄養ドリンク剤だけ飲んでいる。夕食だけ一人前より少なめに食べられる。体がさらに3Kg痩せ、疲れやすい、時々フラフラする、抑うつ不安、睡眠は浅い、中途覚醒があり、便が1回/1~2日。軟便ぎみ。

舌診：淡舌歯痕があり、薄白苔。

弁証

治則

処方